

広報 たまっくり

人口と世帯数

50年7月1日現在

(単位・戸, 人)

総人口 13,843人

男 6,804人

女 7,039人

世帯数 3,089戸

(毎月1回発行) 発行人町長 坂本常蔵 昭和38年 1 月 23 日 第三種郵便物認可
印刷所 さんゆう社印刷 定価10円



▲ 向かって右, 司令車, 左, 救急車

救急業務いよいよスタート!!

鹿行広域消防行方北部署

七月十四日から

役場玄関前に勢揃いしたのは、鹿行広域消防行方北部署の司令車、救急車です。

四月に発足した行方北部署では、七月十四日から、救急業務を開始いたしました。

交通事故、急病患者等、急を要する場合には、御利用下さい。

電話 麻生局 (〇二九九七)

二一〇五六

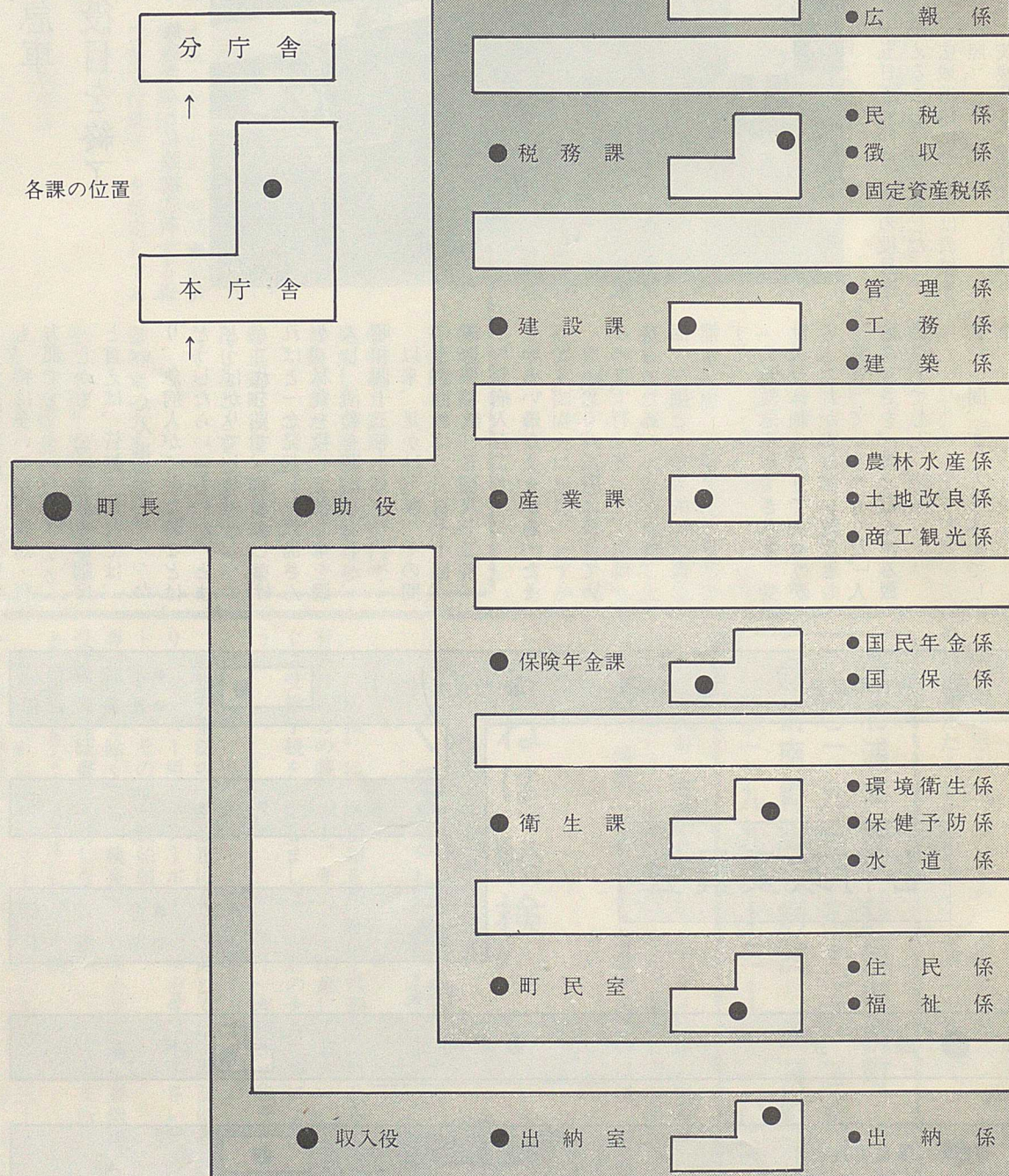
二一〇五八

現在、仮庁舎におりますので、普通電話を使っています。本庁舎が完成しだい、通報も一一九番になりますので、もしばらくお待ち下さい。

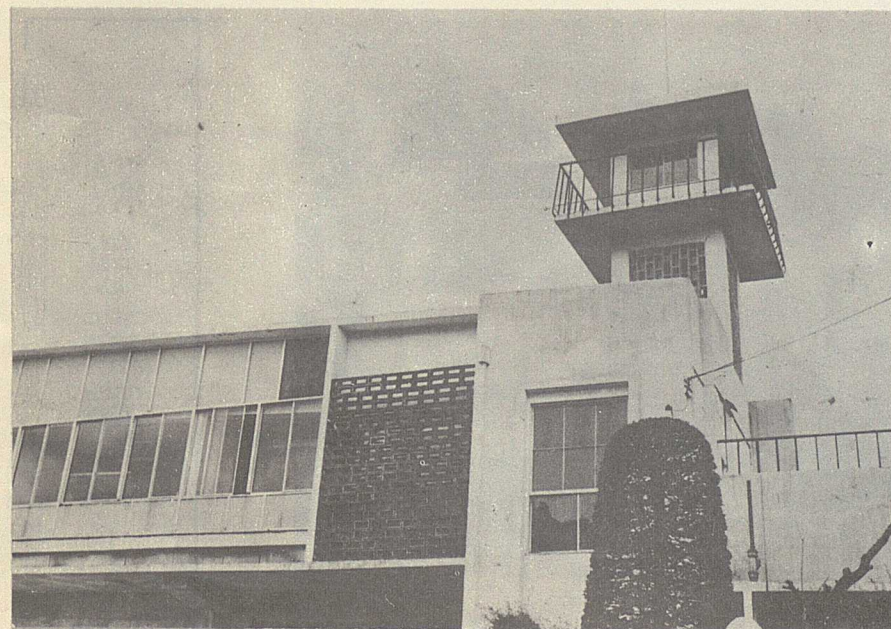
なお、電話で通報する場合には、道路、場所、具体的な目標物等、詳しくお知らせ下さる様お願いいたします。

機構図

7月1日から
このようになりました。



七月一日から

役場のしくみが
変わりました

新たに
保険年金課を
設けました

七月一日付をもって、役場の機構改革を実施いたしました。これにより、役場のしくみが変わりました。

年々、町民の皆さんの、あてはてほしい、こうしてほしいという役場に対する要望は増えつつあり、また、その内容も、多様化の時代にふさわしく、多種多様になりつつあります。

こうした要望に応えるためには、それに見合う組織が必要となります。

機構改革を実施する意味もそこにあるわけで、これにより、事務の能率化、町民の皆さんに対するサービスの向上をはかってまいります。

以下、その内容について、お知らせいたします。

(1) この様になりました。

今まで、保健衛生課にあった国民健康保険係と、町民室にあった年金係とを合併、新たに、保険年金課を設けました。

これにより、福祉関係の仕事は、町民室と保険年金課が扱うことになりました。

また、一部の課では、編成替えをいたしました。

建設課では、土木係を工務係に、建設係を建築係に、名称を改めました。

産業課では、農林水産係、土地改良係のほか、新たに、商工観光係を設けました。

企画課では、新たに、広報係を設けました。

衛生課では、環境衛生係、保健予防係、水道係に編成替えいたしました。

(2) 配置も変わりました。

町民の皆さんの用件が、できるだけ早く、円滑にすむように、課の配置も変わりました。

新設の保険年金課は、町民室のわきに配置しました。

これにより、住民・福祉関係の用件は、一ヶ所で済むようになりました。

農業委員会は、関連性の多い産業課のわきに配置しました。ほかは、大体、従来どおりです。

以上、機構改革のあらましを、お知らせいたしました。よろしく、御協力をお願いいたします。

長い間、ごくろうさまでした

私設救急車

役目を終了

飯島さんと私設救急車



長い間、家業を営むむかた
わら、私設救急車で、多くの
人命を救われた飯島勝治さん
(西蓮寺)が、鹿行広域消防
の救急業務開始により、七月
十五日をもって、その役目を
終えることになりました。
(広域消防については表紙参
照)

茨城県は、全国でも有数の

交通事故多発県、その中で
も、特に多いのが、鹿島・行
方郡です。
しかも、公けの救急体制は
と言え、皆無。これでは、
いったん事故がおこった
り、急病人ができた時などは、
どうしたらいいものか、とま
どばかりでした。
これを見て、何とかしなけ
ればと一念発起した飯島さん
が、私費を投じて救急車を買
入し、活動を開始したのが、
昭和四十三年十月一日。
以来、足かけ八年、その間
の出動回数は、三百七十回、
搬送患者数、三百八十二名、
うち急病人百二名。
いろいろなことがあったそ
うです。
なかでも、記憶に残ってい
るのは、行く先々で、医師が
留守のため、小川、石岡、土
浦、牛堀と、結果的に、霞ヶ
浦を一周したことだそうで
す。
「公設救急車ができれば、受
け入れ体制も整うであろうか
ら、これからは、一町民とし
て見守っていくつもりだ。」人
命の尊さを、熱っぽく語る飯
島さんでした。

長い間、ごくろうさまでし
た。

各行政委員会

● 教育委員会	● 教育長	● 教育次長	● 学校教育係	● 社会教育係
			● 学校給食センター	
			● 公民館	● 管理係 ● 指導係
● 議 会	● 事務局	2階		
● 農業委員会	● 事務局			

もし.....

救急車の都合が悪い時には

―ドライバー(運転者)の皆さんの

御協力をお願いします―

再三にわたり、恐縮ですが
救急業務について、もう一言
付け加えていただきます。
行方北部署が、救急業務を
開始いたしました。これでも
う大丈夫と太鼓判を押したい
ところですが.....

ここに、一つの問題があり
ます。
御承知のように、行方北部
署は、麻生町・玉造町・北浦
村を管轄しております。
今の段階での設備はと言
いますと、配車されている救急

◎交通事故による

負傷者を搬送した者に

対する報償金制度について

(規定)

最近のきびしい交通情勢
下にあつて、人命尊重を基
調とした交通安全対策の一
環として、交通事故による
負傷者を、医療機関等に搬
送した善意の協力者に対し、
報償金をおくり、感謝の意

をあらわすため、「交通事故負
傷者を搬送した者に対する報
償金交付規定」を制定してあ
ります。
この制度は

◎昭和四十七年四月一日か
ら実施で、

◎実施日以降、玉造町内で
発生した交通事故負傷者を
救護された方には

◎玉造町役場・防災係に搬
送したことをしらせていた
だくと

◎特定の方を除き

◎二千元～五千円の報償金
を、玉造町長がおくること
になります。

ふねは「船検」

くるまは車検

「船検」は、小型船を所
有される方の義務です。今
すぐ受検手続をいたしまし
ょう。

以下の罰金に処せられますか
ら注意して下さい。
船の大きさ等により、昭和
五十一年度まで猶予されるも
のがあります。

詳しくは、左記に連絡して
指示を受けて下さい。

船舶安全法の一部改正によ
り、レジャー用モーターボ
ート、釣船、その他一般船舶
（専用漁船を除く）も、検査を
受け、検査証書を所持しない
と、運航できなくなりました。
もし、これに違反しますと
一年以下の懲役又は三十万円



◎北浦病院 鉾田町横町
〇二九一―三―二一三六
◎常南胃腸科病院 潮来町辻
〇二九九六―三―一〇一

行方北部署に電話すれば、
ベットの空いているか、医師
がいるか、確認してくれま
す。
急患が出た時には、御協力下
さい。

うことですが、玉造町ですと
尚、搬送にあたって、どの
病院に運んだらいいのかが
考えられます。



— 捻木老人会勤劳奉仕 —

がんばっています!!

～完成は、8月31日の予定です～

現原 プールは、防衛施設庁の補助によるものですが、予算内示（補助金決定）の関係で、残念ながら、今年の夏休みにはまにあいませんでした。

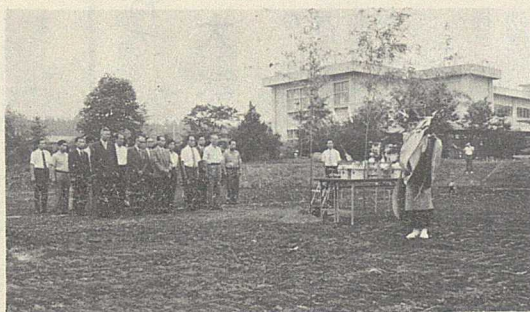
建設費は、おおよそ、二千六百万円、主だった特色として、枠がアルミ製という点があげられます。

七月十日、 従来のビニール製が、六年七日、 はりかえる必要があったのに対して、アルミ製は、半永久的に使えます。

（写真） 設置場所は、現原小学校敷地内、完成は、八月三十一日

の予定で。

起工式の模様



捻木老人会（代表、藤崎昇さん）では、七月二十四日、現原地区公民館のまわりの草刈りをしました。

これは、勤労奉仕と、仕事を通じて会員相互の親睦をはか

かるため、毎年、行なっているものです。

朝早くからの勤労奉仕のおかげで、公民館のまわりは、すっかり、きれいになりました。

誕生おめでとう
ございます



出產

5月

赤ちゃん

続柄

保護者

部落

北村	美代子	長女	秀夫	緑ヶ丘
大河	正志	長男	正行	舟津
原賢二	二男	新一	宿	

訂
正

六月号のおくやみ欄で、長

谷川好重さんの年令を十二と
しましたが、七二のまちがい
でした。つつしんで、訂正い
たします。

おんやみを
申し上げます

氏名

5月

5月

成田田永中杉西荒栗川新桐
井山沢作川山谷井又島堀原
亜和良百由宗紀千雄友哲
紀香奈広合子架忠泰子夏二美史
二女長女長男長女長女長男長女三女二男長女長男

忠信 正信 嘉治 隆次 政夫 允敏 年旦 健次 東海男 良夫 龍隆 死亡

下藤上西柄捻西舟荒
宿井宿蓮貝木谷津宿
里橫綠
賀須ヶ丘

片岡 柴田 鴨下 森作 関野 横田 藤崎 幡谷 立木 千ヶ崎 磯山 中田 高須 松島 箕輪

たけ 隆一 貞夫 たま ヨシノ 慶二 素の助 ひて 康親 虎の進 多喜子 よ志 タケノ 巖

年令

部
落

六八	七〇	七七	四七	八六	七五	七一	七五	六〇	五六	八七	八一	三七	六九	七八	年令
八木薛	荒宿	諸井	浜	新宿	八木薛	冲洲	羽生	上宿	若海	根古屋	浜	藤井	横須賀	部落	